風の又三郎（1940）

メディア 映画
ジャンル ドラマ　ファミリー　ファンタジー
製作国 日本
色彩 B&W
時間 98分
初公開日 1940/10/10
公開情報 日活

【解説】
　俳優として活躍していた島耕二が、監督に転身して初めて制作した作品。原作は宮沢賢治の不朽の名作であり、その後も何度か映画化されているが、この作品が原作の雰囲気を最も良く映像化していると評された。
　風の強い9月1日、都会から転校してきたという少年が突然教室に現れる。彼の名は高田三郎だったが、4年生の嘉助は彼を「風の又三郎」と呼んだ。転校翌日、三郎は佐太郎にきれいな鉛筆をあげた。また国語の本を読み上げ、みんなの関心を集めた。ある日、川原で相撲を取っていた三郎は、投げ飛ばされた上「悔しかったら風を吹かせてみろ」とからかわれる。三郎が雲行きを見ながら風の歌を口ずさむと、急に強い風が吹いてきて暴風雨となってしまった。

【クレジット】
監督 島耕二
原作 宮沢賢治
脚本 永見隆二
　　小池慎太郎
撮影 相坂操一
出演 中田弘二
　　北竜二
　　風見章子
　　西島悌四郎
　　片山明彦
　　大泉滉
　　星野和正
　　小泉忠
　　中島利夫
　　林寛
　　見明凡太郎
　　杉利成
　　南沢昌平
　　河合英一
　　久見京子

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.